

雲南クリーンセンターの施設更新について

～肥料販売の終了～

平成2年度に整備したし尿処理場「雲南クリーンセンター」（雲南市木次町里方）の施設更新をいたします。平成28年度の完成を目指しています。生活排水処理の広域化、共同化の推進により、効率的な処理、費用の削減に努めます。

し尿処理施設から下水道汚泥共同処理施設へ

現在、雲南クリーンセンターは雲南市、奥出雲町、飯南町全域のし尿、浄化槽汚泥の共同処理施設として設置運営し、農業集落排水汚泥についても併せて処理しています。

近年、雲南圏域では、下水道の普及によりし尿の量は年々減少し、かわって下水道汚泥の発生量は増えています。

そこで、下水道汚泥を主に、併せてし尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥を一体的に処理する「下水処理場・汚泥共同処理施設」として雲南クリーンセンターを整備します。

処理能力は、現在の1.6倍の144m³/日となります。

雲南市下水処理場との機能分担

下水処理場の処理は、水処理と汚泥処理に大別されます。

雲南広域連合が計画する汚泥共同処理施設では、し尿汚泥の脱水処理のみを行い、水処理は隣接する雲南市の下水処理場「木次三刀屋浄化センター」へ排水し、処理してもらうことにしています。このような機能の分担により、雲南広域連合では水処理機能が必要なくなりました。

肥料「ゆうき雲南」の販売終了

今回の施設整備のため、現在稼働中の堆肥製造設備を撤去します。

長年にわたり、ご愛顧いただきました汚泥発酵肥料「ゆうき雲南」の製造について、今年5月末をもって終了といたします。販売につきましては、在庫がなくなり次第、終了とさせていただきます。